



イルカも私たちも、大きないのちの営みのひとつのピース。イルカだけに固執することなく、お互いを取り巻く広い世界を見渡すような団体として成長することを願っています。人の営みとイルカの共生があるからこそその天草。つながりを保ちながら、野生動物であるイルカの生息環境も良くなる方法がきっとあるはず。これまでの共生がより良いかたちでこれからも続くように、人にもイルカにも優しい天草の海のために活動していきます。

## シンボルマーク

天草の頭文字「A」をモチーフに使用し、その中心に通詞島（つうじしま）沖の小亀灯台のイメージを配置しました。熊本県天草市にある通詞島周辺は、『イルカの聖地』として知られています。そしてこの島の沖合1km付近のところに、赤い色的小亀灯台があります。島の浜からもはっきりと確認できるこの灯台は、地域の人たちに『こがめ』と呼ばれ親しまれています。ここでは「こがめにおるよ〜」という会話が成立し、「小亀灯台の周りにイルカたちが集まっているよ」ということを意味します。

灯台はもともと、以下のような意味合いがあります。

- ・安全な航行のために注意を引くところ
- ・迷わないよう目指す場所を示す目印
- ・遠くまで知らせる、存在を届ける
- ・灯のともる場所
- ・光を発して合図を送る拠点

等々

小亀灯台は、まさに天草の野生のイルカたちが好んで集まる場所です。このシンボルマークには、ここから光を放ちイルカとともにある天草、人もイルカも集まる場所、ということの世界へ発信するという思いが込められています。

## ロゴタイプ（書体）

私たちの活動に対する向上心を「A」で表現し、できるだけシンプルで伝わりやすく、そして多くの人に親しんでもらえるようなロゴタイプを心がけました。また日本語の『IRUKA』を世界に伝えるために、それが何を意味するかわかりやすいように「K」にイルカの尾びれを入れました。

## カラー

知性、堅実、信頼を連想させるネイビーブルーをメインカラーに、天草の海の色をイメージするブルーをワンポイントに使いました。